

ピアホームだより

2010. 4. 8

新年度を迎えて

昨年5月開所したピアホームも、後1カ月で1年となります。他の仕事ではとても味わえないような貴重な体験一本当の意味で人生経験をしたようです。

社会的入院の退院促進のFさんの場合

退院し、当ホームに入居し、病院のデイケアに通っていました。1カ月ぐらい経過したところで病状が急変し、病院・GHともその兆候を把握しきれず、トラブルを起こしました。その後、近隣との関係を配慮して退去となってしまいました。長期入院から地域へ移る場合、段階的なトレーニングや木目細かなサポート、急変への対応などの問題が浮き彫りになりました。

千代田区より受け入れたWさんの場合

犯罪にも関わっていたという特殊な経歴の方でした。クリニックのデイナイトケアを

6日間受け、GHではミーティングへの参加も良好で、立ち直りをみせていると感じていました。しかし、以前の反社会的な生活スタイルから抜け切れてなく、失踪という事態になりました。信頼関係を過信せず、現実を見極め、実態に即した細かな指導を必要としたようです。

飯沼病院に通院・デイケアのAさんの場合
長期入院に至っています。日本の精神病院の実態も垣間見ることができました。本人の病気の状態と生活力を見極め、どのようなサポートが適しているのか、今後、本人と模索していく必要があります。

作業所（ほぼりトルハウス）へ通所をされている方のグループホームへの適応が良いという結果になりました。リトルハウスに通う方は、昼間の様子も分り、着実に前進しているように思います。

利用者と世話人の関係は、手を出し過ぎても出さなくてもだめで、その距離の取り方が重要だと感じています。つまり、“見守り”が大切だと思います。ピアホームIでは、コミュニケーション力と日常生活のスキル向上

をめざし、様々なプログラムを試し、現在、ほぼ定着してきました。新年度に向けて、さらに工夫を凝らし、楽しく、そして身に付くようにしていきたいと考えています。

4月の行事

<4月22日>食事会

<4月25日>交流会（顧問白石先生主催）

私の巣立ち

上〇正〇

3月からピアホームに入居しましたM・Uです。3週間ぐらいは、まだ家電が全部揃っていなかったこともあり、洗濯物を出しに実家に帰ったり、また、ホームに戻ったりの1泊しては次の日は実家という生活でした。だんだん、2泊3日や3泊4日にしていって、ホームでの生活を主にしつつあるこの頃です。初めて、家電や台所用品の買い物をして貯金の1/3を使ってしまいました。毎日の食材も、買い過ぎたり足らなかつたりで加減が上手いかない自分にイライラしたり、不安になったりしています。（続く）